

沼津市青少年教育センター

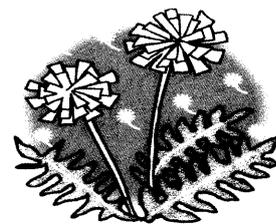
たより

平成26年2月号 No. 506

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

青少年健全育成の根っ子

青少年健全育成地域相談員 総括 天野 榮男



町内会隣組の回覧板に挿入されてくる地元の学校だよりは、殊の外楽しみにしているページの一つです。子どもや学校の現況とその背景を垣間見せていただきながら、国や県のレベルで議論されている一連の教育改革への動きが、奮闘している学校現場をどう支援して下さるおつもりなのか関連づけて考えたいからです。25. 10. 16「大平小だより」に、大平小学童見守りボランティアが学校保健及び学校安全表彰文部科学大臣表彰に！という記事がありました。長年大平小児童の登下校を見守ってくださっているお二人が始めた旗振りに、大平コミ防犯ボランティアチームが協力して、10年以上も続いた見守りが選ばれ、表彰は11. 7秋田県であり、この結果を大平コミ祭で紹介できることを楽しみにしていますという記事でした。12. 31発行の「コミュニティー大平」には、このお二人と大平コミの皆さん（大平小の校長さんも含んで）が市長さん・教育長さんへの報告と沼津警察署長さんへの報告の様子が大きく報じられていました。このお二人は、警察と連携して自分の車に青色ランプを点灯させて校区の学童見守りをしてくださっています。このお二人をリーダーに、雨の日も風の日も登下校時に交差点に立って旗振りをしながら子どもたちへの声かけをしてくださっている地域のボランティアは、延べにすると相当な数になると思います。全く頭が下がります。青少年健全育成の根っ子の部分だと思うのです。

お話は変わりますが、去年は、体罰問題について、元プロ野球選手の桑田真澄さんが新聞の取材に応じ、「体罰は不用」と訴え、殴られた経験を踏まえ「子どもの自立を妨げ、成長の芽を摘みかねない」と指摘したことに端を発し、大きな議論を呼んだ年でもありました。朝日新聞の特集記事を追っても、「スポーツと体罰」は14回に亘って報道されていました。タイトルも、戦前からの教育負の連鎖生む構造、指導者は言い聞かせることが大切で殴り聞かせるという言葉はない、自ら判断する能力鍛える機会奪うな、漫画やアニメでは体罰やしごきがベースにあったスポーツ根性はすでに終わっている、保護者からも疑問すら言えぬ指導間違い等々でした。また、年間300人の保健体育教員を送り出している日体大の谷釜学長さんが、本学が変わればスポーツ指導現場も変わるという並々ならぬ決意のもと、息の長い取り組みが始まっているという記事が特に印象的でした。この問題今回が潮目となればよいのですが！！

自分と勝負

青少年教育センター 指導主事 横山 尚博

立春が過ぎましたが、まだまだ寒さは厳しく、あたたかな春の訪れが待ち遠しい頃となりました。平成25年度もそろそろ締めくくりの時期となり、新しい年度を迎える準備段階に入ってきました。4月に青少年教育センターの教育相談担当として着任し、今まで多くの子ども達・保護者の皆様からのお話をお聞きし、共に考えてきました。「学校に行くことができません。どうしたらいいでしょう。」「人とかかわることが苦手です。どうしたら上手になりますか。」不登校や発達に関する内容がほとんどでした。面接を進める中で、共通して感じたことは、相談者の方々の『自分と戦う素晴らしさ』でした。

保護者の皆様は、現在の子どもの状態、そこに至るまでの経過、親としての子育ての考え方やかわり方について話をしてくれます。できたら自分の心にしまっておきたいと思われる中味、自分の子どもの姿を目の当たりにして何とかしたいと思う気持ち、精一杯やってきた子育てが違っていただのかもしれないと不安になったり、後悔する思い等、さらけ出しながら語ってくれます。目を伏せ、なかったことにしたいと考えてしまったこともあるとは思いますが、勇気を持って話ししてくれます。本当にありがたい姿で、一緒に方策を考えるにも力が入ります。ありがたいことに、ほとんどの方がご自身が話をする中で、心を整理して、センターから提供するわずかなアイデアや考え方をもとにして、今後の方向性を見出してくれているように感じます。

子ども達は、閉じこもっていた自分の胸の内を開き、体を動かしながら気持ちをほぐす中で、内なるエネルギーを外に向け、今の自分よりも一歩も二歩も前進しようとしてくれます。「ぼくは辛いことがあると、逃げちゃうんだよね。でも、ちょっとずつでも進んでいることがわかって、それを認めてもらえて自信になったよ。」「ドッジボールをやって、思い切り体を動かしてスッキリしたよ。また明日から少しだけだけど頑張れそうだよ。」「ここに来てギターをやるのが楽しみ！！難しそうに見えたけど、自分でもできるって思えた。」回を重ねる度に「これでいいんだ。これで大丈夫。」と噛みしめるようにして、子どもの心の中の次のステップに挑戦してくれます。



日々、子ども達・保護者の皆様が自分と向き合い、自分と戦いながら現状を打破しようとする姿勢に感動しながら相談活動を行っております。決心が必要で、事態が好転するまでには、相当のねばり強さと時間がかかりますが、その過程をじっくりとたどれることは実に素晴らしいことだと思います。そんな子ども達・保護者の皆様にエールを送りたいと思います。「あきらめないで、大丈夫ですよ。」

相談者の皆様と共に考える中で、反対に教えていただける『自分と勝負』を大事にしながら、大切な時間を過ごしたいと思っています。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受け付け時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：TEL 951-3440

平成25年12月・平成26年1月の状況

12・1月には新たに申込みがあった7件（12月5件、1月2件）を含め、
 55件（延べ相談回数322回）の相談に応じました。

1. 相談内容別新規相談件数

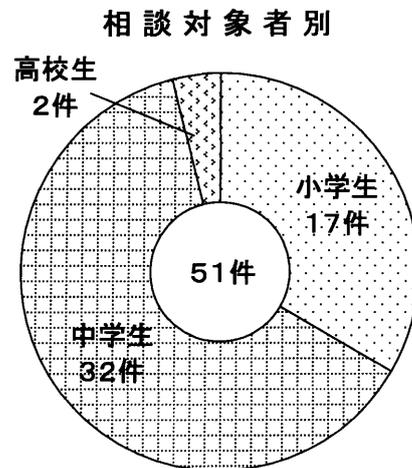
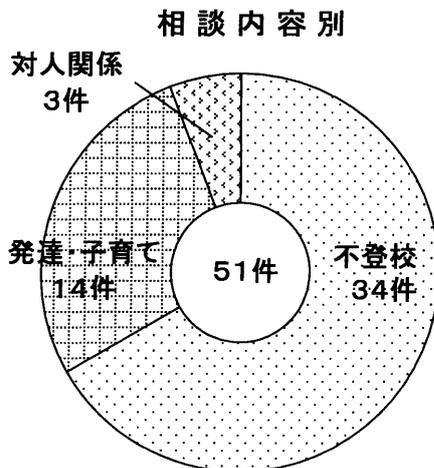
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
12月	0	2	3	0	0	0	5
1月	0	2	0	0	0	0	2

2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
12月	0	3	2	0	0	0	5
1月	0	0	2	0	0	0	2

3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 51件 （前年同期 50件）



4. 12・1月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		4	2				6
	女		3	3				6
中学生	男		15	3				18
	女		16	1		1		18
高校生	男		1			1		2
	女							0
少年	男				1	2		3
	女				1			1
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	20	5	1	4	0	30
	女	0	19	4	1	1	0	25
男女合計		0	39	9	2	5	0	55

5. 12・1月の相談回数（55件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
12・1月	男	103	22	49	174
	女	113	8	27	148
	計	216	30	76	322

相談指導学級 学級担当

12月の2学期最終日には、毎日使用しているセンター3階の大掃除をしました。この日はほとんどの通級生が通級し、役割分担して一生懸命取り組みました。個の生活から集団の生活へ変容していることを実感しています。

1月に入り、通級生に望ましい動きがありました。中学校が一斉に学力調査、実力テストを実施しました。今まではセンターで受ける生徒もいましたが、今回はほとんどの生徒が学校で受けることを決断し登校しました。教室で受ける生徒、学校の配慮により相談室や保健室等で特別に受ける生徒と様々でしたが、前日までの不安と登校へ一歩踏み出す勇気と決断力、そこには計り知れないものがあったことと思います。自己課題を自分自身で克服したことは自信に繋がり、次のステップへ繋がっていきます。大切な1日であったと思います。

学級は本年度あと2か月です。中学3年生は、全員受験に向けて出願書類を整えたり、学習のまとめに努めたりしています。学校への思いに悩みながらも、多くの体験活動を通し成長を見せた通級生が高校入学試験や卒業・進級を控え最後のまとめに入ります。

電話相談



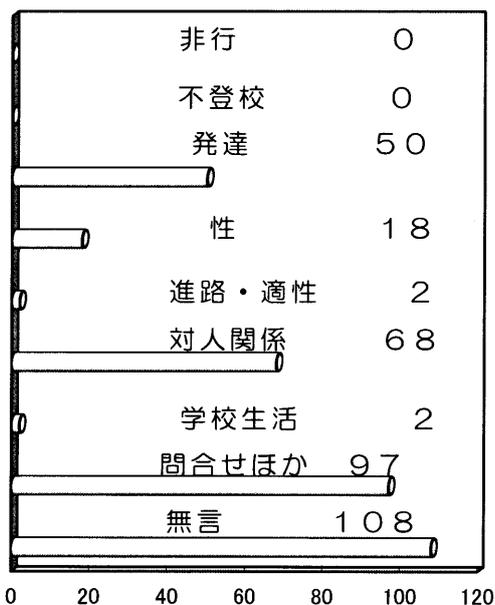
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成25年12月・平成26年1月の状況

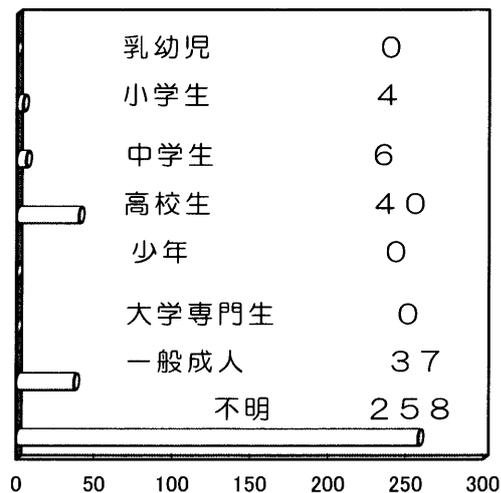
12月には186件、1月には159件の相談が寄せられました。
 （前年12月：192件、前年1月：191件）

1. 12・1月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成25年度)

総件数 1,900件（前年同期 1,975件）



(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	2	6	439	78	8	318	17	450	582

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	1	53	76	323	2	9	257	1,179



「放課後の補導」と「朝の補導」

沼津市立原東小学校 後藤 幸久

これまで、教員として、また、地域の一員として「補導」の活動に幾度か取り組んできました。今年度も「少年補導委員」として委嘱され、放課後の中央街頭補導に数回取り組んでいます。また、4月から勤務している原東小学校でも、各町内の保護者が毎週末補導活動に取り組まれています。同行したことはありませんが、補導活動後に、学校に提出される補導日誌を通して、地域の青少年健全育成のための活動が続けられているのを感じます。このような地道な補導活動は沼津市の各校区で取り組まれ、青少年健全育成のために大きく貢献していることは言うまでもありません。

「補導」という言葉を広辞苑で調べてみました。すると、「少年などを正しい方向に輔け導くこと（輔導）」と書いてありました。補導といえば、放課後の遊戯場に入出入りする子への声かけ、公園での過ごし方、祭典の際の特別補導、夜間徘徊の取り締まり、声かけなど非行の前段階でのものが主でした。悪い方向に向かわぬように声をかけ、正しい方向に導くという目的をもって行っています。

「少年を正しい方向に助け導くこと」が「補導」であるならば、朝の気持ちの良い挨拶から1日をスタートさせてあげることも、大切な「朝の補導活動」であると考えます。挨拶は、コミュニケーションの基本、社会人としての基本であり、正しい行いです。子どもの力ではどうにもできない状況を抱えている子どもも多いです。そんな子どもたちに、今日も1日ががんばろうという思いを込めて「おはようございます」の挨拶で、心を開かせてあげられたらと思います。教員として、また、一人の大人として正しい方向に子どもたちを導けるように、これからも気持ちの良い挨拶・声かけをしていきたいです。朝の補導活動と放課後の補導活動は、まさに、青少年健全育成の為の両輪ではないでしょうか。

1 少年補導委員の延べ参加人数（12月・1月）

区別	市職員	教員	地区補導委員	女性補導委員	母親補導委員	警察関係	総数
人数	12月	6	102	9	4	0	131
	1月	8	282	9	5	0	315

2 補導回数・補導状況（12月・1月）

	補導回数				声かけ 注意・指導	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
12月	2	6	10	18	52	0	0
1月	4	8	32	44	66	0	0

3 平成25年度 4月からの補導活動累計

補導回数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
411	3,311	1,036	0	0

12月・1月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

12月には、県内一斉の冬季少年補導に多くの方が参加してくださりありがとうございました。そのため
もあって、12月の通常の中央補導や地区別補導は参加人数、回数ともに少なくなっています。まだしば
らく寒い日が続きますが、補導は継続的に実施されます。引き続きよろしくお願いいたします。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
飲	酒	男							0	
	酒	女							0	
喫	煙	男						2	2	2
	煙	女							0	
夜 間 は い か い		男			1				1	23
		女			3				3	13
不 良 交 友		男							0	
		女							0	
怠 学 ・ 怠 業		男							0	
		女							0	
ゲームセンター入場		男	9	24	22	3			58	405
		女	2	8	9				19	156
パチンコ店入場		男							0	
		女							0	
カラオケ店入場		男							0	10
		女							0	14
自転車の暴走行為		男		2					2	2
		女							0	
自転車の二人乗り		男							0	17
		女							0	11
自転車の無灯火		男			4				4	40
		女							0	14
危険な遊び		男							0	12
		女							0	6
そ の 他		男			10	1	2		13	184
		女	2	8	5	1			16	127
計		男	9	26	37	4	2	2	80	695
		女	4	16	17	1	0	0	38	341
男 女 合 計			13	42	54	5	2	2	118	1,036

事後	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
指導	他機関へ連絡	男							0	
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

情報コーナー

LINEの使い方には要注意

LINEを使ったトラブルや事件が急増しています。お互いの誹謗中傷、出会い系のトラブル、児童買春や暴行といった事件の温床になっているケースもあります。

LINEは、標準設定でインストールすると、電話帳に登録されているすべての友だちとつながってしまいます。多くの方は、手軽に使えるというメリットに惹かれて利用し始めます。スタンプという手軽にコミュニケーションが取れる機能も人気で、若年層を中心に大ブレイク。国内だけで1,000万人以上のユーザーを持つといわれています。

しかし、多くの子どもが利用しているこのサービスに目を付ける者も出てきます。乱立する出会い系の掲示板やアプリの中で、ユーザーがLINE IDを掲載し、興味のある内容を書き込んでいるユーザーに連絡する仕組みです。話し相手を募集することもあるし、援助交際相手を探していることもあります。社会経験の少ない子どもは、お金を払うという相手と不用意に会ってしまいます。逆に、女子の書き込みにホイホイと出て行った男性が美人局にはまって、脅迫され、金を奪われる事件もあります。こうした事件に巻き込まれないように、使い方には、くれぐれもご注意を！

県内一斉冬季少年補導

～警察関係者など571人が参加～

昨年の12月13日に県内一斉冬季少年補導が実施されました。寒い中を、571人の方々にご参加をいただき、市内各地のゲームセンター プリクラ ボーリング場 カラオケ 図書館 書店 コンビニ 漫画喫茶 DVDビデオ店 繁華街 盛り場 インターネットカフェ 公園 駐車場 駐輪場 学校 駅構内等をまわりました。特に大きな問題はありませんでした。自転車の無灯火が多いとの報告が目立ちました。



センターの活動予定 (3月・4月の主な活動予定)

日 程	活動(行事) 予定	日 程	活動(行事) 予定
4月17日(木)	青少年健全育成地域相談員 委嘱式・研修会	4月24日(木)	【体験活動はばたき】 ハイキング ※天候等諸事情により、変更することがあります。

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言 (昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。